

ツルの北帰行終わる



本町の行人岳は、ツルの北帰行が見れる場所として有名です。2月から3月にかけて、連日ツルの北帰行を一目見ようと大勢のツルファンが訪れます。駐車場には鹿児島ナンバーのほか、県外ナンバーも数多く見られ、天気が良く、北帰行に適した日には駐車場が満杯になり駐車できないほど混雑します。

平成23年度は13,101羽が越冬のため出水市の出水平野に渡ってきました。そして、そのツルたちの北帰行は、1月30日のマナヅル198羽から始まり4月5日まで、ほぼ全羽が渡り終えました。

毎年、行人岳でツルの北帰行の写真を撮る阿久根市の福浦重松さんは「今年も北帰行するツルの姿に感動しました。来年も写真を撮るため行人岳に伺います」と話しました。



行人岳で北帰行を待つツルファン



ツルの北帰行を撮影するカメラマン

編集後記

今月号からお気付きのとおりに表紙などを一新しました。これまで読んでいただいた皆さまに感謝するとともに、今後もよりいっそう広報紙を手にとっていただけだとは思いますが、表紙すべてを写真にしました。一面の写真で町が元気で、町民一人ひとりが長島を愛し、誇りとしていることが分かるような写真撮影に心がけたいと思います。

もう一点は、以前は「広報ながしま」と表示していましたが、今月号から「広報長島」としました。

県内でも一番元気があるまち「長島」。この「長島」の地名を、もっとたくさんの人に知っていただき、長島のファンを増やしたいと思いです。

現在、長島の春の花祭り「夢追い長島花フェスタ」も5月6日まで開催中です。今後いろいろなイベントが計画され、長島はますます元気になります。

長島流の「おもてなし」と「魅力」で、「日本一景観が優れ、将来の子どもが夢を持てる長島」のための広報紙でありたいと思います。

(小屋昭彦)